

西村 勇也
(にしむら ゆうや)

ダイアログBar 主宰 / 代表
コンサルタント / ファシリテーター

1981年 大阪府豊中市に生まれる → 池田市に引越し

□学生時代 大阪大学大学院人間科学研究科 教育心理学専攻

大学時代：弓道部（いちおう初段。弓に燃えてました）

大学院時代：学生団体の活動「就職活動支援団体『盆栽』」「100人キャンプ」

□卒業後

□人材開発・組織変革のベンチャー会社に就職

モチベーション研修、システムシンキングを用いた研修のプログラム開発

□（財）日本生産性本部メンタル・ヘルス研究所へ

メンタルヘルスをテーマとした組織診断、ダイアログを用いた組織開発プログラムの開発、コンサルティング

□現在

「対話の場」をベースとした社会変革

2008.4 ダイアログBarを開始（これまで14回開催、500人の参加）

2009.1 未来を創るワークショップ2009

最近の話題と関心

- ・ 退職しました。フリーです。
- ・ アート、まちづくり、地方と観光
- ・ お金がないところ（自治体、学校、大学、小さな企業）の組織開発

さて、本日は

対話の場について

対話の場とは？

対話

=

Dialogue (ダイアログ)

場 = B A

対話の場 = Dialogue Bar



これも対話の場



笑いあり



気づきあり



深まる話

ところで

学生時代、バックパッカーでした



Dialogue Bar all rights reserved

こんな感じ



そこで出会ったもの





すばらしい自然





人類の叡智





文化











Dialogue Bar all rights reserved

彼は、仏教を知るために旅に出た



彼は、学校に行きたい



彼は、日本に行くために英語と
日本語を学んでいる

対話

学ぶ意欲

生きる力

しかし

日本に帰ってきて感じるのは

忙しさ

疲れ

あきらめ

割り切り

人のせい

人のせい

人のせい

そもそも

自殺者が毎年30000人越え

幸福度は世界 95 位

企業に広がるうつ病

不幸の国？

でも、しかし

僕が学生時代に見てきたもの





あ、弓道部でした



学び

協力

対話

創造力

金はないが

喜びがあった

ちょっと待て

ということとは

日本人にもできる？

いやいや、あれは学生だから

学生だから

学生だから

学生だから



僕も

あきらめ

てた？

しかし！

時は

1 9 9 X年



ue Bar all rights reserved

ではなくて

2007年12月

一つの出会い

ピーター・センゲのシンポジウム

そこに集まったスタッフ50名

全員がフルタイムの仕事あり

夜な夜な集まりミーティング

こんな人たち



こう見えても

コンサルタント

經營者

コ一子

会社員

みんなバリバリ働いています

そして、

たった2ヶ月で大成功

すばらしい場

すばらしい仲間

愛と想いやり

!!!

学生じゃなくても出来る！

必要なのは機会

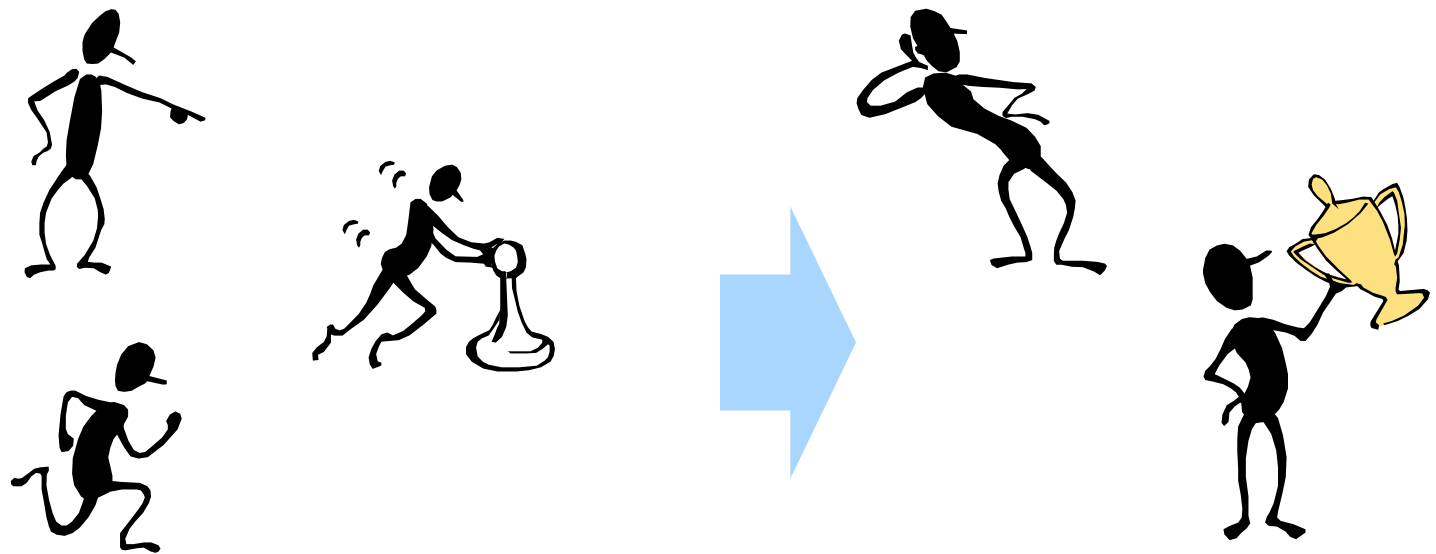
きっかけ

きっかけがあれば動き始める

ところで

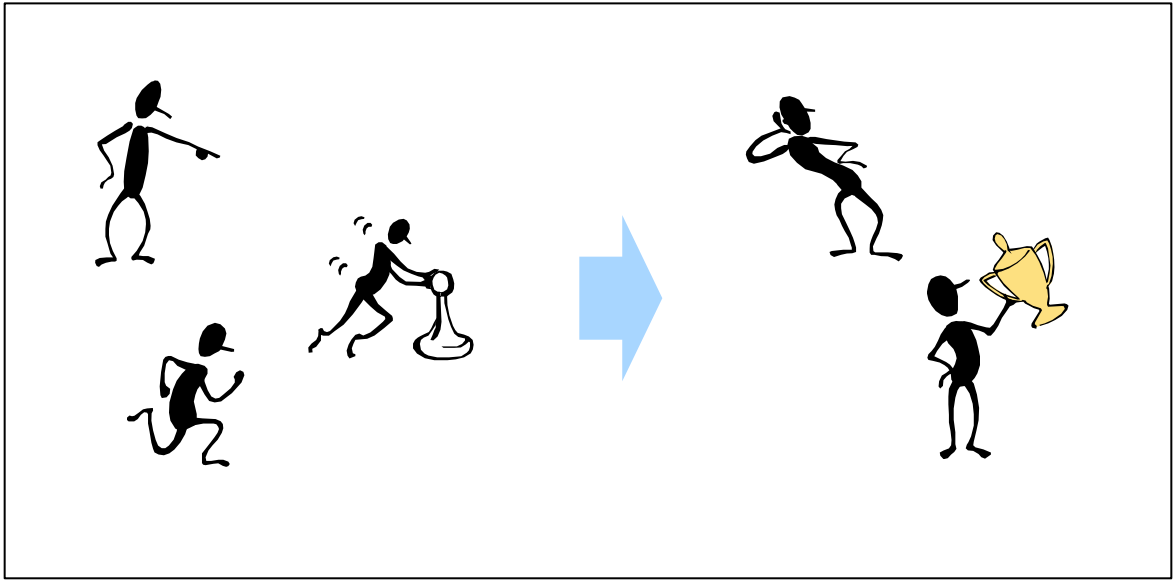
ちょっと考えてみてください

忙しさの中で働きながら、何を得ていますか？



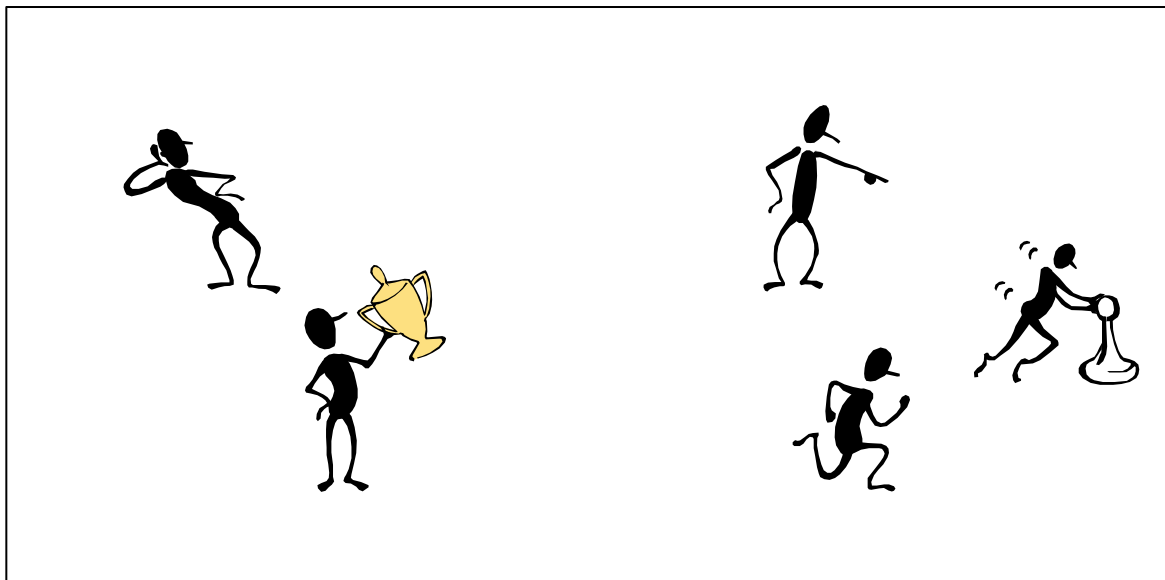
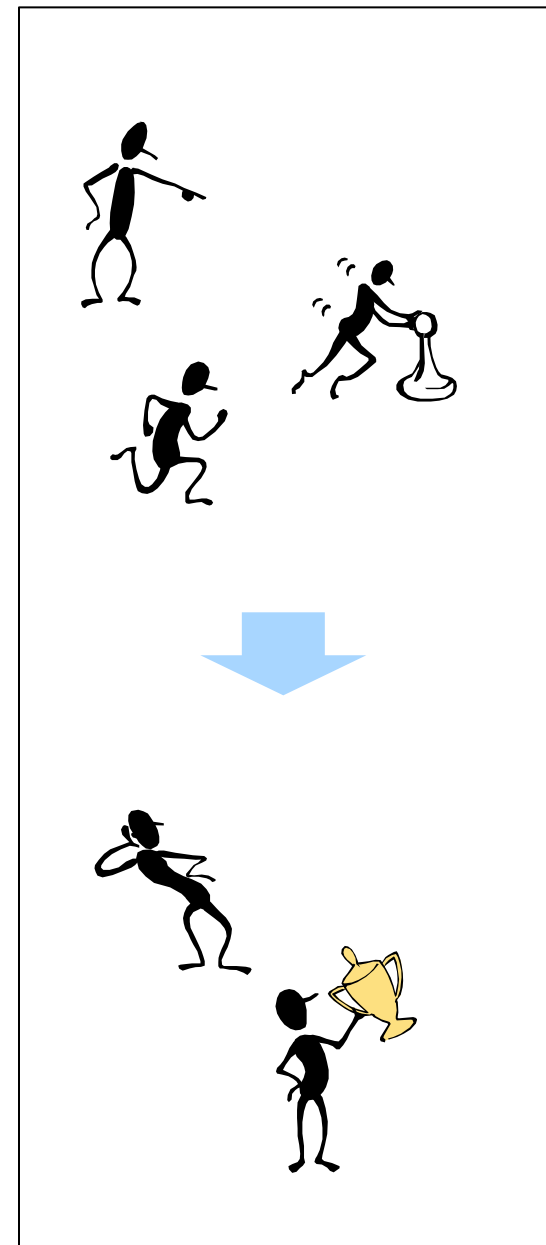
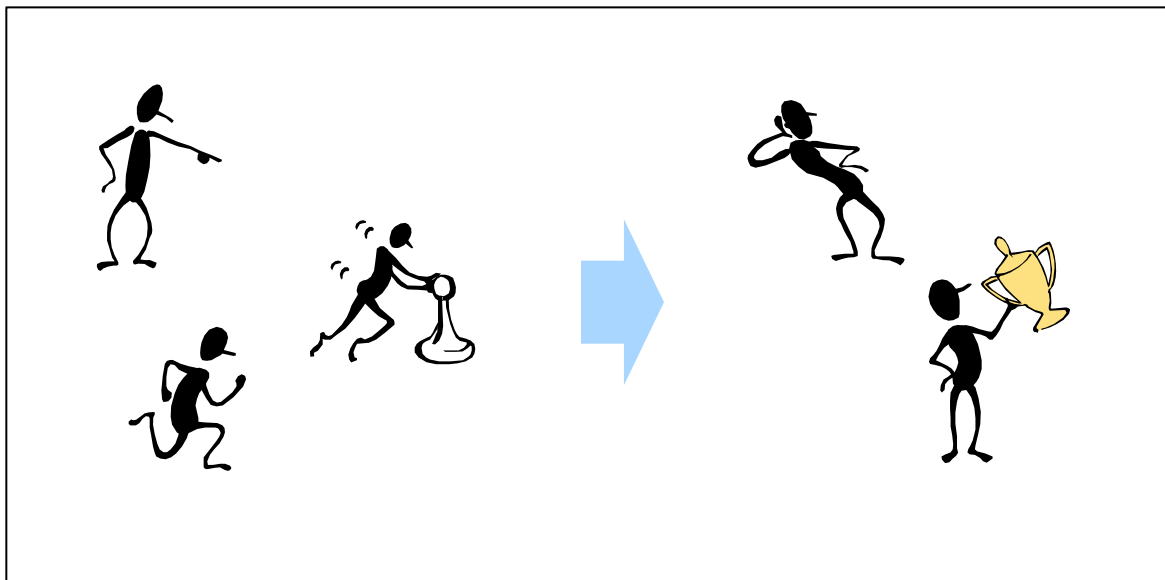
ちょっと考えてみてください

実は



次の人につながります

さらに



1 周回って返ってきます

あれ？

やればやるほど忙しくなる？

買？

そう、罨

でも

視野が狭くなればなるほど、見え
なくなる仕組み

視野 = 時間と関係性の広さ

時間と関係性の広さを広げる必要

てっとり早いのは

システムシンキング

詳しくは調べてください

(僕も教えています)



もっと自然に&簡単にできない
か？

そこで

出てくるのが

「対話」という考え方

対話とは

対話 ≠ おしゃべり

対話 ≠ 会議

対話 ≠ 議論、討論

対話とは

スピードをゆるめて、心を開いて
話し合うこと

要は、ゆっくり話し合う

考えを述べる

振り返る

話を聴く

実はすごく少ない

なぜなら

無駄だとされるから

意味が見えないから

やり方が分からないから

ていうか

お金にならないから

日本人は

プロセスにはお金を払わない

わざわざする人がいない

というわけで

せっかくなので

自分の役割にしてみた

対話の場を創ること

しかも

やってみて気づいた

対話はいろんな問題を解決する
インフラになる

一つ一つの問題に対応するよりも、それらへの対応がより良く機能し、互いに補完し合えるための「社会的なインフラ」としての”対話の場”

つまり

とても意味がある

しかも

楽しい

楽しみの再生

喜びの再生

日本に喜びを

世界に役立つ日本

日本に行きたいと言った、全ての
国の友人に

喜んで来てもらえる国

「そんなに良くないよ」

とか

「人が多いよ」

ではなくて

「喜びにあふれているよ」

と言いたい

話を戻すと

対話の場

日常の中に“対話”を創りたい

ところで

東京だと

サラリーマンの日常は

9時から5時まで会社員

そして

アフター5

自由になる時間は

アフター5

そこで

会社帰りに行ける場

さらに

最近の流行

サードプレイス

家、会社、第三の場

サードプレイス

要は

お気に入りのカフェ

カフェによって帰る

日常の1コマ

でも

日本のカフェは

なぜか

1人で行くところ

本を読むか

仕事をするか

もしくは知り合いと行く

おしゃべり

打ち合わせ

どうもフランスやイタリアは違
うらしい

カフェで、議論が起こったり

カフェで、大学の先生が講義して
たり

日本には無い感覚

それはさておき

確かに、カフェは日常の場

しかも

本来は、話し合いが起こる場
(でもある。)

そこで

カフェに対話の場を創ってみた



カフェで起こる「学び」と「つながり」

せっかくだから

組織開発で使うプログラムを 活用してみた

ワールド・カフェ

ストーリーテリング

3 時間の中に

対話の場を生み出す

それが、ダイアログBarとして
東京でやっていること

最近、関西でも出張ダイアログ Bar誕生

(11月に京都でやります)

さらに

参加者から

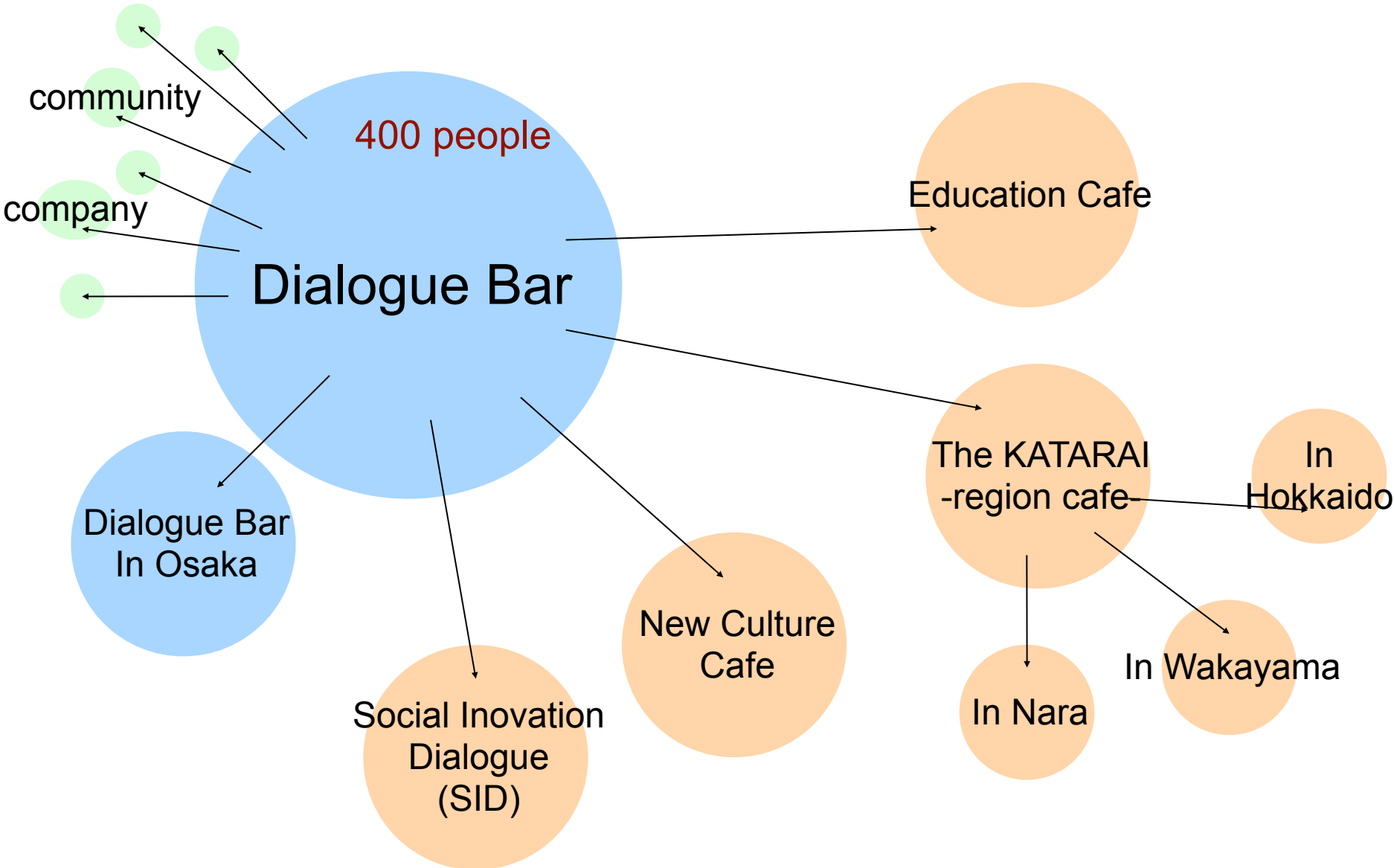
新しい文明カフェ、SID、タカ
ジュフン奈良、教育カフェ、...

新しい対話の場

他にも

社内でやってみる人、仲間でやっ
てみる人、講演や研修に取り入れ
たり

地道に広がっています



ところで

ダイアログBarには、カフェとは
別にもう一つの顔があります

未来を創るワークショップ

? ? ?

わけの分からないタイトルです

何をやったかというと

2日間のワークショップ

ただし

全 1 2 時間中、講演 2 時間

分科会 1 時間

昼休み各 90分

休み時間各 4 5 分

対話のプログラム 5 時間

要は対話ベースの2日間

聞いて帰るだけのカンファレンス
は飽きました

本当に飽きました



こんな感じ



テーマは

持続可能な未来を創る

コンセプトは

祭り

ところで

持続可能とは何か？

1つの考え方として

サイクルの循環の中に持続可能性
がある

例えば

伊勢神宮



20年に一度立て直す

同じ建物は20年で壊れる

が

伊勢神宮は千年以上続いている

これぞ持続可能な社会

サイクルの中に持続可能性を 見出す

祭りもハレとケのサイクル

ケ ハレ ケ ケ ケ ケ ケ
ケ ケ ケ ハレ ケ ケ ケ

そこで

一年に一度、未来について対話する「日」を創ってみた

363日のためのハシの2日間

全国から集まったメンバーが対話
をして帰っていく

1年に1回集まって、サイクルが
生まれる

それが未来を創るワークショップ

ところで

そもそも、対話はとてもクリエイティブ

対話は単なる話し合いじゃない

対話は未来を創る話し合い

というか

未来は対話から生まれる

変化は、小さな話し合いから生ま
れます

だから

対話の時間には、「創り出す」
という意味もある

だから

「未来を創る」 ワークショップ

そもそも

未来を創るワークショップは、
ダイアログBarの参加者を集めて
生み出されました

対話を通じて生まれた2日

それが未来を創るワークショップ

(来年もやります)

ちよつとまとめると

ダイアログBarは日常

未来を創るワークショップは祭り

ダイアログBar = 日常 (ケ)

未来を創るWS = 祭 (ハレ)

2つの対話の場

それがダイアログBarがやってる
こと

(そろそろ終わります)

喜びと共にあり、社会的な問題解
決へとつながる場

自分たちの社会を自分たちのもの
にするために、振り返るための場

創造的な社会を創るスタートライン

たかが話し合い

されど話し合い

頭の中に持っけていても
何も始まらない

互いに向き合って話をするところ
がスタートライン

まずは席について

耳をすませて

心を開いて

関心を持つ

目の前の人にも

周囲の人にも

社会にも

地球にも

日本に對話の場を



そして創造的な社会を創り出す

Dialogue Bar

<http://dialog-bar.net>